

平成 25 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	心身障害者医療費助成事業 (市加算分)																							
所管課	101	保険年金課	(市民環境部)		宇陀市一般会計予算																					
事業の目的	心身障害者に対し医療費の一部を助成し、もって心身障害者の健康の保持及び福祉の増進を図ることを目的とする。				区分 No.	区分名																				
					款	3	民生費																			
					項	1	社会福祉費																			
					目	2	障害者福祉費																			
細目	1	本庁障害者福祉費																								
根拠条例等	宇陀市中心身障害者医療費助成条例、同条例施行規則																									
総合計画	基本計画 第2章 第2節 地域医療体制の充実																									
H25年度事業の概要	県の心身障害者医療費助成金補助制度では、障害者本人及び扶養義務者に所得制限があるが、宇陀市は市単独事業として県の制限所得を超える方も助成対象とする。 (市単分予算内訳) 自己負担集計手数料・・・@44件×324件=14,256円 心身障害者医療費助成額・・・10,550円×31人×12ヶ月=3,924,600円				財源の内訳 (単位:千円)																					
					分担金																					
事業の成果	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>22年度 (実績)</th> <th>23年度 (実績)</th> <th>24年度 (見込)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>年度末対象者数(市単)</td> <td>28人</td> <td>24人</td> <td>30人</td> </tr> <tr> <td>助成件数(市単)</td> <td>402件</td> <td>358件</td> <td>325件</td> </tr> <tr> <td>自己負担金集計手数料(市単)</td> <td>16,412円</td> <td>14,564円</td> <td>14,300円</td> </tr> <tr> <td>市単分助成額</td> <td>5,311,582円</td> <td>3,049,028円</td> <td>3,704,400円</td> </tr> </tbody> </table>					22年度 (実績)	23年度 (実績)	24年度 (見込)	年度末対象者数(市単)	28人	24人	30人	助成件数(市単)	402件	358件	325件	自己負担金集計手数料(市単)	16,412円	14,564円	14,300円	市単分助成額	5,311,582円	3,049,028円	3,704,400円	使用料	
						22年度 (実績)	23年度 (実績)	24年度 (見込)																		
					年度末対象者数(市単)	28人	24人	30人																		
					助成件数(市単)	402件	358件	325件																		
					自己負担金集計手数料(市単)	16,412円	14,564円	14,300円																		
					市単分助成額	5,311,582円	3,049,028円	3,704,400円																		
					国費																					
					県費																					
					市債																					
					諸収入	457																				
一般財源	3,481																									
H25予算額	A 3,938																									
H24当初予算額	B 4,096																									
H24現計予算額	4,096																									
増減額	A-B ▲ 158																									
事業のコスト			平成23年度(実績)	平成24年度(見込)	特定財源の状況																					
決算額又は決算見込額(千円)	3,064	3,719	高額療養費立替金収入(雑収入) 457千円																							
従事職員数【人工】	0.07	0.08																								
人件費(人工×8,000千円)	560	640																								
総事業費:人件費含む(千円)	3,624	4,359																								
活動指標名	受給者数																									
活動指標の算式	-																									
活動指標の実績	24	単位 人	30	単位 人																						
単位当たりコスト(円)	151,000		145,300																							
事業の目標	障害があることで医療費がかさみ、就労が困難な状況にある重度な障害者に対し医療費の一部を助成することで安心して医療が受けられるようにすることを目指す。					備考																				
					<予算案のポイント> 【重点事業】 5.市民安心安全プロジェクト [暮らしの安心] (3)心身障害者医療費、重度心身障害老人等医療費助成の所得制限の撤廃																					

平成 25 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	療育教室「こあら教室」開設事業				
所管課	127	介護福祉課	(健康福祉部)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	発達障害児及び保護者に対して、日常生活における基本的動作の指導及び集団生活への適応の訓練を行い、障がいのある子ども達の心身の健康な発達を助長し、援助する。				区分 No.	区分名	
					款	3	民生費
					項	1	社会福祉費
					目	2	障害者福祉費
					細目	1	本庁障害者福祉費
根拠条例等	宇陀市療育教室実施要綱						
総合計画	基本計画 第2章第4節 障がいのあるひとがいきいきと暮らせるまち						
H25年度事業の概要	発達障害児の早期療育の場とし、指導者の充実と関係機関と積極的に交流し教室機能の一層の充実を図る。 臨時職員賃金 1,442千円 講師謝礼 30千円 消耗品費 50千円 食糧費 24千円 障害保険料 16千円 合計 1,562千円				財源の内訳 (単位:千円)		
					分担金		
事業の成果	平成23年度実績 平成22年11月より開設。 家庭児童相談員1名、臨時保育士4名、指導員1名で、毎週木曜日朝10時より「ぬくもりの郷」で15回実施。7組の親子が参加。 臨時職員賃金 1,895千円 講師謝礼 185千円 消耗品費 86千円 食糧費 11千円 合計 2,177千円				使用料		
					国費		
					県費		
					市債		
					その他	24	
					一般財源	1,538	
					H25予算額	A 1,562	
					H24当初予算額	B	
H24現計予算額							
増減額	A-B 1,562						
事業のコスト			平成23年度(実績)	平成24年度(見込)	特定財源の状況		
決算額又は決算見込額(千円)	2,177	1,562	参加者負担金 24千円				
従事職員数【人工】	0.30	0.30					
人件費(人工×8,000千円)	2,400	2,400					
総事業費:人件費含む(千円)	4,577	3,962					
活動指標名	参加親子数						
活動指標の算式	—						
活動指標の実績	7	単位	組	6		単位	組
単位当たりコスト(円)	653,857			660,333			
事業の目標	児の健康な身体をつくり、集団保育をとおして社会性や協調性を養い、保護者の相談にも対応し、また保護者同士の交流をはかる。					備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 4.子ども未来創造プロジェクト(12)“こあら教室”を開設しています。

平成 25 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	障害児地域参加交流促進事業(にこにこの部屋開設)				
所管課	127	介護福祉課	(健康福祉部)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	市外の特別支援学校等に通学する児童・生徒に対し、地域の人々との交流や行事等への参加をする機会をつくり、地域住民との交流を通じて障害児(者)への理解を図る。 また、市内の特別支援学級に通学する児童・生徒との交流の機会を設け、集団での生活指導を行いながら、地域における障害児の居場所をつくる。				区分 No.	区分名	
					款	3	民生費
					項	1	社会福祉費
					目	2	障害者福祉費
細目	1	本庁障害者福祉費					
根拠条例等	宇陀市障害児地域参加交流促進事業実施要綱						
総合計画	基本計画 第2章第4節 障がいのあるひとがいきいきと暮らせるまち						
H25年度事業の概要	平成25年度予算概要 報償費 30千円 委託料 682千円 合計 712千円				財源の内訳 (単位:千円)		
	事業の成果 ・家に引きこもりがちな障害児の居場所づくりができる。 ・家族の介護負担の軽減につながると共に、障害児が地域の活動に参加することにより、地域とのつながりができ、地域全体での見守りにつながる。				分担金		
使用料							
国費							
県費							
市債							
その他							
一般財源					712		
H25予算額					A 712		
H24当初予算額	B 2,576						
H24現計予算額	2,576						
増減額	A-B ▲ 1,864						
事業のコスト	平成23年度(実績)	平成24年度(見込)	特定財源の状況				
決算額又は決算見込額(千円)	1,799	2,576					
従事職員数【人工】	0.30	0.30					
人件費(人工×8,000千円)	2,400	2,400					
総事業費:人件費含む(千円)	4,199	4,976					
活動指標名	参加者数						
活動指標の算式	-						
活動指標の実績	27 単位 人	27 単位 人					
単位当たりコスト(円)	155,519	184,296					
事業の目標	小・中学校生等との交流並びに地域参加を図ることにより、特別支援学校等に通学する障害児が地元と関わり、地元と密着することにより、地域全体で見守り、障害児が安心して生活が送れるようにする。					備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 4.子ども未来創造プロジェクト(13)“にこにこの部屋”を開設しています。

平成 25 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	重度心身障害老人等医療費助成事業 (市加算分)																			
所管課	101	保険年金課	(市民環境部)		宇陀市一般会計予算																	
事業の目的	心身障害者医療費助成事業の対象となる障害を持つ者(身体障害者手帳1、2級または療育手帳A1、A2所持者)で、後期高齢者医療制度加入者などに対し医療費の一部を助成することで、対象者の健康の保持及び福祉の増進を図ることを目的とする。				区分 No.	区分名																
					款	3	民生費															
					項	1	社会福祉費															
					目	3	老人福祉費															
細目	1	本庁老人福祉費																				
根拠条例等	宇陀市重度心身障害老人等医療費助成要綱																					
総合計画	基本計画 第2章 第2節 地域医療体制の充実																					
H25年度事業の概要	対象者が支払った医療費(食事負担額や保険外医療費等を除く)から、次の金額を除いた額を助成する。 ・通院の場合・・・医療機関毎に月500円 ・入院の場合・・・医療機関毎に月1000円(ただし、月14日未満の入院の場合は、500円) 県の助成金補助制度では所得制限があるが、宇陀市は所得制限を超える方にも市単事業として助成する。 (市単分予算) 医療費助成費 7,815円×32人×12ヶ月=3,000,960円				財源の内訳 (単位:千円)																	
					分担金		使用料															
事業の成果	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>22年度(実績)</th> <th>23年度(実績)</th> <th>24年度(見込)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>年度末対象者数(市単)</td> <td>20人</td> <td>18人</td> <td>31人</td> </tr> <tr> <td>助成件数(市単)</td> <td>418件</td> <td>353件</td> <td>400件</td> </tr> <tr> <td>市単分助成額</td> <td>2,651,770円</td> <td>2,004,203円</td> <td>2,076,000円</td> </tr> </tbody> </table>					22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	年度末対象者数(市単)	20人	18人	31人	助成件数(市単)	418件	353件	400件	市単分助成額	2,651,770円	2,004,203円	2,076,000円	国費	
						22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)														
					年度末対象者数(市単)	20人	18人	31人														
					助成件数(市単)	418件	353件	400件														
					市単分助成額	2,651,770円	2,004,203円	2,076,000円														
					県費		市債															
					その他		一般財源	3,001														
					H25予算額	A	3,001															
					H24当初予算額	B	2,280															
					H24現計予算額		2,280															
増減額	A-B	721																				
事業のコスト			平成23年度(実績)	平成24年度(見込)	特定財源の状況																	
決算額又は決算見込額(千円)	2,005	2,076																				
従事職員数【人工】	0.03	0.06																				
人件費(人工×8,000千円)	240	480																				
総事業費:人件費含む(千円)	2,245	2,556																				
活動指標名	受給者数																					
活動指標の算式	-																					
活動指標の実績	18	単位 人	31	単位 人																		
単位当たりコスト(円)	124,722		82,452																			
事業の目標	重度心身障害老人等に対して、その医療費の一部を助成することで、経済的負担を軽減するとともに、生活の安定に寄与することを目標とする。					<予算案のポイント> 【重点事業】 5.市民安心安全プロジェクト [暮らしの安心] (3)心身障害者医療費、重度心身障害老人等医療費助成の所得制限の撤廃																

平成 25 年度当初予算(案) 事業別シート 宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	高齢者等サポート隊事業					
所管課	127	介護福祉課	(健康福祉部)		宇陀市一般会計予算			
事業の目的	見守りが必要な在宅の高齢者等に対し、見守り、安否確認、身近な支え合いを行う行動組織として高齢者等サポート隊を編成し、高齢者等の孤独の解消及び安心感の提供並びに孤独死の防止を図り、もって高齢者の福祉の増進に資することを目的とする。				区分 No.	区分名		
					款	3	民生費	
					項	1	社会福祉費	
					目	3	老人福祉費	
細目	1	本庁老人福祉費						
根拠条例等	高齢者等サポート隊活動モデル事業実施要領							
総合計画	基本計画 第2章 第6節 心豊かな地域福祉の充実							
H25年度事業の概要	平成23年度から、高齢者等見守り隊の編成を行うべく、安心安全ネットワーク推進委員会にて検討。高齢者等おしらせ隊は市が、高齢者等サポート隊は市社会福祉協議会・地域包括支援センターが、それぞれ運営主体となり、24年度から取り込む。 特に、高齢者等サポート隊は、モデル地域を中心に実践活動を行うことで、地域住民自身で地域の課題や問題点を把握し、高齢者等見守りマップの作成やサポート隊の養成・研修を行ってため、市社会福祉協議会委託料の費用を計上した。				財源の内訳 (単位:千円)			
					分担金			
事業の成果	高齢者等おしらせ隊と高齢者等サポート隊の2つを合わせて高齢者等見守り隊を呼んでいる。高齢者等おしらせ隊は、配達関連事業所及びライフライン検針業務関連事業所に協力を求め、市と事業所が協定を締結。平成23年12月から高齢者等の異変を察知した場合、通報・連絡体制や連携を取ることで官民協同のもと高齢者等の孤独死の防止を行っている。 高齢者等サポート隊は、4地域の関係団体に説明会を開催し、事業の目的やモデル地域の決定を行い、個別説明会やワークショップの開催を目指している。				使用料			
					国費			
					県費			
					市債			
					その他			
					一般財源	963		
					H25予算額	A 963		
					H24当初予算額	B 963		
H24現計予算額	963							
増減額	A-B							
事業のコスト	平成23年度(実績)	平成24年度(見込)	特定財源の状況					
決算額又は決算見込額(千円)		963						
従事職員数【人工】		0.30						
人件費(人工×8,000千円)		2,400						
総事業費:人件費含む(千円)		3,363						
活動指標名	高齢者サポート隊の設置数							
活動指標の算式	-							
活動指標の実績	単位	8				単位	事業所数	
単位当たりコスト(円)		420,375						
事業の目標	高齢者等の見守り活動を地域住民、行政、民間事業所の官民協働で実施していく。					備考		
						<予算案のポイント> 【重点事業】 5.市民安心安全プロジェクト [暮らしの安全] (4)“高齢者サポート隊”事業		

平成 25 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	新規	事業名	菟田野人権交流センター改修事業							
所管課	102	人権推進課	(市民環境部)		宇陀市一般会計予算					
事業の目的	あらゆる差別の撤廃・人権擁護に関する審議会において、平成23年11月に人権交流センターの今後の在り方についての答申に基づき、将来的に交流センターを1ヶ所に統合する方向である。また、統合については菟田野人権交流センターを拠点とすることから、改修事業を行うこととする。25年度は耐震診断・判定業務、26年度は設計・耐震補強、27年度は改修工事とする予定である。				区分 No.	区分名				
					款	3	民生費			
					項	1	社会福祉費			
					目	8	人権交流センター費			
細目	41	菟田野人権交流センター改修事業費								
根拠条例等	宇陀市人権交流センター等設置及び運営に関する条例									
総合計画	基本計画 第4章 第1節 誰もが尊重される共生のまちづくり									
H25年度事業の概要	<table border="1"> <tr> <td>耐震判定委託費</td> <td>4,629</td> </tr> <tr> <td>耐震診断判定手数料</td> <td>630</td> </tr> </table>				耐震判定委託費	4,629	耐震診断判定手数料	630	財源の内訳 (単位:千円)	
	耐震判定委託費	4,629								
耐震診断判定手数料	630									
事業の成果	・今回の耐震診断結果を踏まえて、平成26年度の大規模改修工事の予算算定根拠とする。				分担金					
					使用料					
					国費					
					県費					
					市債					
					その他					
					一般財源	5,259				
					H25予算額	A 5,259				
H24当初予算額	B									
H24現計予算額										
増減額	A-B 5,259									
事業のコスト	平成23年度(実績)	平成24年度(見込)	特定財源の状況							
決算額又は決算見込額(千円)	/									
従事職員数【人工】										
人件費(人工×8,000千円)										
総事業費:人件費含む(千円)										
活動指標名										
活動指標の算式										
活動指標の実績						単位	単位			
単位当たりコスト(円)										
事業の目標	・市内にある人権交流センターを1ヶ所に統合することにより、人的、物的資源を最も効率よく活用出来る。				備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 6.改革改善プロジェクト (1)施設の統廃合の推進				

平成 25 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	乳幼児医療費助成事業(通院・市加算分)																							
所管課	101	保険年金課	(市民環境部)		宇陀市一般会計予算																					
事業の目的	乳幼児を養育している者に対し当該乳幼児に係る医療費の一部を助成し、もって乳幼児の健康の保持及び福祉の増進を図ることを目的とする。				区分 No.	区分名																				
					款	3	民生費																			
					項	2	児童福祉費																			
					目	1	児童福祉総務費																			
細目	1	本庁児童福祉総務費																								
根拠条例等	宇陀市子ども医療費助成条例、同条例施行規則																									
総合計画	基本計画 第2章 第2節 地域医療体制の充実																									
H25年度事業の概要	県の乳幼児医療費助成金補助制度では、小学校入学前までの乳幼児の医療費の一部を助成する場合、扶養している者の所得制限があるが、宇陀市では県の所得制限を超える場合でも市単独事業として助成対象とする。 (市単独分予算) ・自己負担集計手数料・・・@44円×30件×12ヶ月=15,840円 ・医療費助成費(0～2歳分)・・・1885円×4人×12ヶ月=90,480円 ・医療費助成費(3～未就学児)・・・5770円×16人×12ヶ月=1,107,840円				財源の内訳 (単位:千円)																					
					分担金																					
事業の成果	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>22年度 (実績)</th> <th>23年度 (実績)</th> <th>24年度 (見込)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>年度末対象者数(市単)</td> <td>32人</td> <td>33人</td> <td>25人</td> </tr> <tr> <td>助成件数(市単)</td> <td>324件</td> <td>340件</td> <td>333件</td> </tr> <tr> <td>自己負担集計手数料</td> <td>14,300円</td> <td>14,080円</td> <td>14,200円</td> </tr> <tr> <td>市単分助成額</td> <td>855,690円</td> <td>682,758円</td> <td>1,092,000円</td> </tr> </tbody> </table>					22年度 (実績)	23年度 (実績)	24年度 (見込)	年度末対象者数(市単)	32人	33人	25人	助成件数(市単)	324件	340件	333件	自己負担集計手数料	14,300円	14,080円	14,200円	市単分助成額	855,690円	682,758円	1,092,000円	使用料	
						22年度 (実績)	23年度 (実績)	24年度 (見込)																		
					年度末対象者数(市単)	32人	33人	25人																		
					助成件数(市単)	324件	340件	333件																		
					自己負担集計手数料	14,300円	14,080円	14,200円																		
					市単分助成額	855,690円	682,758円	1,092,000円																		
					国費																					
					県費																					
					市債																					
					諸収入																					
一般財源	1,215																									
H25予算額	A 1,215																									
H24当初予算額	B 1,103																									
H24現計予算額	1,103																									
増減額	A-B 112																									
事業のコスト	平成23年度(実績)	平成24年度(見込)	特定財源の状況																							
決算額又は決算見込額(千円)	697	1,107																								
従事職員数【人工】	0.05	0.05																								
人件費(人工×8,000千円)	400	400																								
総事業費:人件費含む(千円)	1,097	1,507																								
活動指標名	対象者数																									
活動指標の算式	-																									
活動指標の実績	33 単位 人	25 単位 人																								
単位当たりコスト(円)	33,242	60,280																								
事業の目標	①医療費の自己負担額を助成することで、医療を受けやすくする。 ②医療費を助成することで、親の経済的負担を軽減する。 ③医療費を助成することで、子育てしやすい環境が醸成され人口流出を抑えることを目指す。					備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 4.子ども未来創造プロジェクト (5)子ども医療費、ひとり親家庭等医療費助成の所得制限の撤廃																			

平成 25 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	子ども医療費助成事業(入院・市加算分)																			
所管課	101	保険年金課	(市民環境部)		宇陀市一般会計予算																	
事業の目的	入院医療は高額になることから、その入院医療費を全額助成することで、子どもの健康の保持、福祉の向上を図ると共に、子育てしやすい環境が醸成され、人口の流出を抑えることを目指す。				区分 No.	区分名																
					款	3	民生費															
					項	2	児童福祉費															
					目	1	児童福祉総務費															
細目	1	本庁児童福祉総務費																				
根拠条例等	宇陀市子ども医療費助成条例、同条例施行規則																					
総合計画	基本計画 第2章 第2節 地域医療体制の充実																					
H25年度事業の概要	宇陀市では、市独自の施策として、子どもの入院医療費(保険診療分に限り)については、中学校卒業時までを全額助成する。 市単分助成額・・・146円×2,100人×12ヶ月=3,679,200円				財源の内訳 (単位:千円)																	
					分担金																	
事業の成果	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>22年度(実績)</th> <th>23年度(実績)</th> <th>24年度(見込)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>年度末対象者数(市単)</td> <td>1,570人</td> <td>2,300人</td> <td>2,100人</td> </tr> <tr> <td>助成件数(市単)</td> <td>8件</td> <td>35件</td> <td>40件</td> </tr> <tr> <td>市単分助成額</td> <td>494,392円</td> <td>1,971,821円</td> <td>2,343,000円</td> </tr> </tbody> </table>					22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	年度末対象者数(市単)	1,570人	2,300人	2,100人	助成件数(市単)	8件	35件	40件	市単分助成額	494,392円	1,971,821円	2,343,000円	使用料	
						22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)														
					年度末対象者数(市単)	1,570人	2,300人	2,100人														
					助成件数(市単)	8件	35件	40件														
					市単分助成額	494,392円	1,971,821円	2,343,000円														
					国費																	
					県費																	
					市債																	
					諸収入	152																
					一般財源	3,528																
H25予算額	A 3,680																					
H24当初予算額	B 3,645																					
H24現計予算額	3,645																					
増減額	A-B 35																					
事業のコスト	平成23年度(実績)	平成24年度(見込)	特定財源の状況																			
決算額又は決算見込額(千円)	1,972	2,343	高額療養費立替金収入(諸収入) 152千円																			
従事職員数【人工】	0.08	0.08																				
人件費(人工×8,000千円)	640	640																				
総事業費:人件費含む(千円)	2,612	2,983																				
活動指標名	対象者数																					
活動指標の算式	-																					
活動指標の実績	2,300	単位 人	2,100	単位 人																		
単位当たりコスト(円)	1,136		1,420																			
事業の目標	①医療費の自己負担額を助成することで、医療を受けやすくする。 ②医療費を助成することで、親の経済的負担を軽減する。 ③医療費を助成することで、子育てしやすい環境が醸成され人口流出を抑えることを目指す。				備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 4.子ども未来創造プロジェクト (5)子ども医療費、ひとり親家庭等医療費助成の所得制限の撤廃																

平成 25 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	新規	事業名	未熟児養育医療給付事業				
所管課	101	保険年金課	(市民環境部)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	低体重など身体の発育が十分でないまま生まれてきた赤ちゃんは家庭で養育することが難しいことから、医師が入院治療が必要と認めたとお子さんに対し、必要な医療の給付を行うことを目的とする。				区分 No.	区分名	
					款	3	民生費
					項	2	児童福祉費
					目	1	児童福祉総務費
細目	1	本庁児童福祉総務費					
根拠条例等	母子保健法						
総合計画	基本計画 第2章 第2節 地域医療体制の充実						
H25年度事業の概要	1. 対象者 1歳未満の乳児で、身体の発育が未熟のまま出生し、出生時の体重が2000グラム以下などの症状を有している医師が入院養育を必要と認めたと方（25年度は、過去の実績に基づき対象者を16名として予算要求） 2. 給付方法 未熟児養育医療に係る経費を市が一旦全額指定養育医療機関に支払い、自己負担分を後日保護者の方より徴収する。				財源の内訳 (単位:千円)		
					分担金		
事業の成果					使用料		
					国費	619	
					県費	310	
					市債		
					その他	377	
					一般財源	312	
					H25予算額	A 1,618	
					H24当初予算額	B	
H24現計予算額							
増減額	A-B 1,618						
事業のコスト	平成23年度(実績)	平成24年度(見込)	特定財源の状況				
決算額又は決算見込額(千円)			未熟児養育医療国庫負担金 619千円				
従事職員数【人工】			未熟児養育医療県費負担金 310千円				
人件費(人工×8,000千円)			未熟児養育医療費自己負担金(諸収入) 377千円				
総事業費:人件費含む(千円)							
活動指標名							
活動指標の算式							
活動指標の実績		単位		単位			
単位当たりコスト(円)							
事業の目標	乳児の健康保持と子育て支援				備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 4.子ども未来創造プロジェクト (4)未熟児養育医療給付事業	

平成 25 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	新規	事業名	「うだ育児の日」宣言事業				
所管課	126	子ども支援課	(健康福祉部)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	毎月19日を「うだ育児の日」と宣言することを記念し、広く周知することにより、市民や企業、各種団体等に子育て支援への取り組みを促進するとともに、若い世代に子育ての楽しさや喜びを伝えるなど、地域や社会全体で子どもを育むことへの意識啓発を図る。				区分 No.	区分名	
					款	3	民生費
					項	2	児童福祉費
					目	1	児童福祉総務費
					細目	1	本庁児童福祉総務費
根拠条例等	「うだ育児の日」宣言セレモニー開催要領						
総合計画	基本計画 第2章 第5節 子育て支援が充実したまち						
H25年度事業の概要	1. 開催日時 平成25年10月19日(土) 11時~12時(予定) 2. 開催会場 サンクシティ榛原店 1階広場(予定) 3. 開催内容 ・市長あいさつ ・子どもへの応援メッセージの発表 ・「うだ育児の日」宣言 ・当日参加の子どもに参加賞(報償費)15千円 (手数料)14千円(需要費)170千円				財源の内訳 (単位:千円)		
	事業の成果	毎月19日を「うだ育児の日」と宣言することで、市民や企業、各種団体等に子育て支援への取り組みを促進するとともに、若い世代に子育ての楽しさや喜びを伝えるなど、地域や社会全体で子どもを育むことへの意識啓発を図ることができる。 また、子育て支援策の充実や子育て情報発信を行うことで、若い世代の定住促進を目指す。				分担金	
使用料							
国費							
県費							
市債							
その他							
一般財源		199					
H25予算額	A	199					
H24当初予算額	B						
H24現計予算額							
増減額	A-B	199					
事業のコスト	平成23年度(実績)	平成24年度(見込)		特定財源の状況			
決算額又は決算見込額(千円)	/						
従事職員数【人工】							
人件費(人工×8,000千円)							
総事業費:人件費含む(千円)							
活動指標名							
活動指標の算式							
活動指標の実績							単位
単位当たりコスト(円)							
事業の目標	毎月19日を「うだ育児の日」と宣言することを機会に、広く周知することにより、市民や企業、各種団体等に子育て支援への取り組みを促進するとともに、若い世代に子育ての楽しさや喜びを伝えるなど、地域や社会全体で子どもを育むことへの意識啓発を図る。				備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 4.子ども未来創造プロジェクト (2)「うだ育児の日」宣言事業	

平成 25 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	こんにちは赤ちゃん事業(乳児家庭全戸訪問事業)					
所管課	126	子ども支援課	(健康福祉部)		宇陀市一般会計予算			
事業の目的	すべての乳児のいる家庭を訪問し、子育ての孤立化を防ぐために、その居宅において様々な不安や悩みを聞き、子育て支援に関する必要な情報を提供すると共に、児童虐待を未然に防ぐため、支援の必要な家庭に対しては適切なサービス提供に結びつけることにより、地域の中で子どもが健やかに育成できる環境整備を図る。				区分 No.	区分名		
					款	3	民生費	
					項	2	児童福祉費	
					目	1	児童福祉総務費	
細目	1	本庁児童福祉総務費						
根拠条例等	こんにちは赤ちゃん事業実施要綱							
総合計画	基本計画 第2章 第5節 子育て支援が充実したまち							
H25年度事業の概要	平成25年度予算概要				財源の内訳 (単位:千円)			
	<ul style="list-style-type: none"> ・4500円×180人=810,000円 助産師2名へ委託 ・助産師活動補償保険 44,760円 ・対象乳児が生後4ヶ月を迎えるまでに1回訪問することを原則とする。 ・訪問により支援が必要な家庭に対しては、個別ケース毎に会議を行い、その結果をふまえて支援の内容を検討する。 				分担金			
事業の成果	平成21年度決算 115件 518千円 平成22年度決算 162件 733千円 平成23年度決算 158件 706千円 平成24年度予算 190件 855千円				使用料			
					国費			
					県費	456		
					市債			
					その他			
					一般財源	399		
					H25予算額	A 855		
				H24当初予算額	B 855			
				H24現計予算額	855			
				増減額	A-B			
事業のコスト		平成23年度(実績)	平成24年度(見込)		特定財源の状況			
決算額又は決算見込額(千円)		706	743					
従事職員数【人工】		0.10	0.08					
人件費(人工×8,000千円)		800	640					
総事業費:人件費含む(千円)		1,506	1,383					
活動指標名		訪問件数						
活動指標の算式		—						
活動指標の実績		158	単位	件		190	単位	件
単位当たりコスト(円)		9,532	7,279					
事業の目標	乳児はもちろんのこと、出産後間もない養育者に対するケアを行い、育児によるストレス、産後のうつ状態、育児ノイローゼ等による子どもへの虐待を未然に防ぎ、健やかな育ちを支援する。また、25年度から未熟児訪問指導が県から権限移譲されるため、本事業の重要性がさらに大切になる。					備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 4.子ども未来創造プロジェクト (8)こんにちは赤ちゃん事業(乳児家庭全戸訪問事業)	

平成 25 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	乳幼児用補助装置(ベビーシート)貸与事業							
所管課	126	子ども支援課	(健康福祉部)		宇陀市一般会計予算					
事業の目的	乳児を保護養育している人を対象に、申請日から概ね6カ月の間、ベビーシートを貸与することにより、乳児の安全と保護者の経済的負担を軽減する。				区分	No.	区分名			
					款	3	民生費			
					項	2	児童福祉費			
					目	1	児童福祉総務費			
細目	1	本庁児童福祉総務費								
根拠条例等	道路交通法第71条の3第4項、宇陀市幼児用補助装置貸与事業実施要綱									
総合計画	基本計画 第2章 第5節 子育て支援が充実したまち									
H25年度事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・8600円×45件×1.05=406,350円 ・レンタル事業者と委託契約を結び、申請者には直接事業者からベビーシートが貸与される。 				財源の内訳 (単位:千円)					
	事業の成果 平成21年度決算 47件 427千円 平成22年度決算 44件 398千円 平成23年度決算 33件 298千円 平成24年度予算 45件 407千円				分担金					
使用料										
国費										
県費										
市債										
その他										
一般財源					407					
H25予算額	A 407									
H24当初予算額	B 407									
H24現計予算額	407									
増減額	A-B									
事業のコスト	平成23年度(実績)	平成24年度(見込)	特定財源の状況							
決算額又は決算見込額(千円)	298	407								
従事職員数【人工】	0.08	0.05								
人件費(人工×8,000千円)	640	400								
総事業費:人件費含む(千円)	938	807								
活動指標名	貸与件数									
活動指標の算式	—									
活動指標の実績	33.0 単位 件	45.0 単位 件								
単位当たりコスト(円)	28,424	17,933								
事業の目標	宇陀市の少子化対策の一環として、道路交通法により着用が義務づけられている幼児用補助装置を貸与することにより、乳児の安全確保並びにベビーシートの安全性の理解及び普及に資し、もって保護者の経済的負担の軽減及び子育てを支援する。						<予算案のポイント> 【重点事業】 4.子ども未来創造プロジェクト (6)ベビーシートレンタル事業			

平成 25 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	出産祝い金支給事業					
所管課	126	子ども支援課	(健康福祉部)		宇陀市一般会計予算			
事業の目的	新生児の誕生を祝い健やかな成長を願い、出産祝い金を支給し、子育て世代の経済負担の軽減と定住促進に資する。				区分 No.	区分名		
					款	3	民生費	
					項	2	児童福祉費	
					目	1	児童福祉総務費	
細目	1	本庁児童福祉総務費						
根拠条例等	宇陀市出産祝い金支給要綱							
総合計画	基本計画 第2章 第5節 子育て支援が充実したまち							
H25年度事業の概要	従来は、出産祝い金として1人5,000円の図書券を配布していたが、ウッピー商品券が誕生したことにより、25年度は地域経済の振興に期待できるウッピー商品券を配布するとともに、子育て世代の経済的負担の軽減と定住促進に寄与するため、支給額を10,000円に引き上げる。				財源の内訳 (単位:千円)			
					分担金			
事業の成果	出産祝い品 22年度決算 160件 800千円 23年度決算 180件 900千円 24年度予算 190件 950千円				使用料			
					国費			
					県費			
					市債			
					その他			
					一般財源	1,800		
					H25予算額	A 1,800		
				H24当初予算額	B 950			
				H24現計予算額	950			
				増減額	A-B 850			
事業のコスト		平成23年度(実績)	平成24年度(見込)		特定財源の状況			
決算額又は決算見込額(千円)		900	950					
従事職員数【人工】		0.08	0.05					
人件費(人工×8,000千円)		640	400					
総事業費:人件費含む(千円)		1,540	1,350					
活動指標名		支給件数						
活動指標の算式		-						
活動指標の実績		180	単位	人		190	単位	人
単位当たりコスト(円)		8,556	7,105					
事業の目標	新生児の誕生と健やかな成長を願い、出産祝い金を支給して祝福するとともに、25年度はウッピー商品券を活用することで、地域経済の振興に期待し、また支給額を倍増とすることで、子育て世代の経済負担の軽減と定住促進につなげていく。					備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 4.子ども未来創造プロジェクト (7)出産祝い金贈呈事業	

平成 25 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	新規	事業名	市町村子ども・子育て支援事業計画策定				
所管課	126	子ども支援課	(健康福祉部)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	子ども・子育て支援法に規定され、策定が義務づけられている市町村子ども・子育て支援事業計画について、子ども・子育て家庭の状況及び需要について、ニーズ調査などを実施し、本市における子どものための教育・保育給付や地域子ども・子育て支援事業について、計画的に整備する指針を策定する。				区分 No.	区分名	
					款	3	民生費
					項	2	児童福祉費
					目	1	児童福祉総務費
細目	1	本庁児童福祉総務費					
根拠条例等	子ども・子育て支援法第61条						
総合計画	基本計画 第2章 第5節「子育て支援が充実したまち」						
H25年度事業の概要	本事業計画は、今後本市の子ども・子育て支援の施策や施設給付等の指針となるものであり、子ども・子育て支援法にも国・県・市町村に計画策定が義務付けられている。 25年度・・・国・県の子ども・子育て会議の動向を踏まえながら、小学生までの児童の保護者1,000人を対象にしたニーズ調査を行い、給付見込の集計分析業務を委託する。この調査結果と市町村版子ども・子育て会議の審議などをもとに、当課によって事業計画を平成26年上半年期までに策定する予定。				財源の内訳 (単位:千円)		
					分担金		
事業の成果					使用料		
					国費		
					県費	1,554	
					市債		
					その他		
					一般財源		
					H25予算額	A 1,554	
H24当初予算額	B						
H24現計予算額							
増減額	A-B 1,554						
事業のコスト	平成23年度(実績)	平成24年度(見込)	特定財源の状況				
決算額又は決算見込額(千円)	/		子ども・子育て支援新制度補助金(安心子ども基金)				
従事職員数【人工】			県補助金 1,554千円				
人件費(人工×8,000千円)							
総事業費:人件費含む(千円)							
活動指標名							
活動指標の算式							
活動指標の実績			単位	単位			
単位当たりコスト(円)							
事業の目標	子ども・子育て支援法に規定され、策定が義務づけられている市町村子ども・子育て支援事業計画について、子ども・子育て家庭の状況及び需要について、保護者ニーズ調査などを実施し、本市における子どものための教育・保育給付や地域子ども・子育て支援事業について、計画的に整備する指針を策定する。				備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 4.子ども未来創造プロジェクト (1)子ども・子育て支援事業計画の策定	

平成 25 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	新規	事業名	給食食材放射能検査委託事業				
所管課	126	子ども支援課	(健康福祉部)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	保育所等が提供する給食の更なる安心・安全の確保を図るため、国が出荷制限指示の対象としている地域などを中心に、給食用食材の放射能検査を市独自として委託し、市民に結果を公表することで、保護者の給食用食材への不安払拭と安心して子どもを育てることができる環境を整備する。				区分 No.	区分名	
					款	3	民生費
					項	2	児童福祉費
					目	3	児童福祉施設費
細目	1	本庁児童福祉施設費					
根拠条例等	東京電力原子事故により被災した子どもをはじめとする住民等の生活を守り支えるための被災者の生活支援等に関する施策の推進に関する法律、食品衛生法						
総合計画	基本計画 第2章 第5節「子育て支援が充実したまち」						
H25年度事業の概要	保育所等が提供する給食食材の放射能検査委託料 (単価×回数×月数) 10,500円×4回×12月=504,000円 郵送料 1,160円×4回×12ヶ月=55,680円				財源の内訳 (単位:千円)		
					分担金		
事業の成果					使用料		
					国費		
					県費	504	
					市債		
					その他		
					一般財源	56	
					H25予算額	A 560	
					H24当初予算額	B	
H24現計予算額							
増減額	A-B 560						
事業のコスト	平成23年度(実績)	平成24年度(見込)	特定財源の状況				
決算額又は決算見込額(千円)							
従事職員数【人工】							
人件費(人工×8,000千円)							
総事業費:人件費含む(千円)							
活動指標名							
活動指標の算式							
活動指標の実績							
単位当たりコスト(円)			県:安心こども基金 504千円				
事業の目標	食品中の放射性物質の検査体制については、国の新たな基準に従い、国が出荷制限指示の対象となっている都県では、検査計画を立て、自主検査や生産全品検査などを検査強化を図っている。しかしながら、時折、マスコミ等で報じられているように、安全基準をオーバーしている食材が市場に出回ることあり、保護者等の食材に対する不安は完全に払拭されていない。このようなことから、当分の間、市独自で給食用食材の放射能検査を市独自として委託し、市民に結果を公表することで、子どもたちの給食用食材への不安払拭と安心して子どもを育てることができる環境づくりを行う。				備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 4.子ども未来創造プロジェクト (17)給食食材放射能検査事業	

平成 25 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	地域子育て支援拠点事業				
所管課	126	子ども支援課	(健康福祉部)		宇陀市一般会計予算		
事業の目的	乳児又は、幼児及びその保護者が相互の交流を行う場所を開設し、子育て相談、情報の提供、助言その他の援助を行うことにより、地域の子育て支援機能の充実を図り、子育ての不安感等を緩和し、子どもの健やかな育ちを促進することを目的としている。				区分 No.	区分名	
					款	3	民生費
					項	2	児童福祉費
					目	3	児童福祉施設費
細目	3	本庁子育て支援センター費					
根拠条例等	◆児童福祉法第6条の2第6項 ◆宇陀市地域子育て支援拠点事業の実施に関する規則						
総合計画	基本計画 第2章 第5節 子育て支援が充実したまち						
H25年度事業の概要	毎月テーマを決めて、室内でふれあい遊び・リズム遊び・製作活動・絵本の読み聞かせ等をおこない楽しく交流する。親子教室(0歳児・1歳児・2歳児)を行う。1年間登録制・子育てに必要な情報や知識を教えつもらい、相談に応じてもらう。(保健師、歯科衛生士、栄養士、お話し会、民生児童委員等)親子教室の出身者や子育てを終えた地域の方を募り、子育てボランティアとして関わってもらい、一緒に遊んだり子育ての経験談を話してもらい、育児のヒントにしてもらう。				財源の内訳 (単位:千円)		
					分担金		
事業の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・親子教室(0, 1, 2歳児)では、8クラス140組の登録者。毎週水曜日に各地区を回る出前保育(つどいのひろば)では、1ヶ月平均約33名。すこやかルーム開放では、1ヶ月平均200名の利用者があつた。サークルも5組と毎月活発に活動している。 ・各幼稚園の未就園児交流会にも参加し、スムーズに入園ができるように支援できる。また、療育教室とも連携を取り、保護者からのニーズに対応しやすい環境が生まれている。 ・子育て講演会の開催、子育て相談も気軽にできるようになり、子ども支援課、保健センターや教育総務課とも連携会議を通してつながりやすくなった。 ・子育てボランティア(現在登録者17名)の充実が図れた。 ・地域とのつながりができた。(菟田野中学校、主任児童委員、民生委員、食推など) 				使用料		
					国費		
					県費	3,700	
					市債		
					その他	149	
					一般財源	26	
					H25予算額	A 3,875	
					H24当初予算額	B 4,113	
H24現計予算額	4,113						
増減額	A-B ▲ 238						
事業のコスト	平成23年度(実績)	平成24年度(見込)	特定財源の状況				
決算額又は決算見込額(千円)	2,099	4,113	県:安心こども基金 3,700千円				
従事職員数【人工】	5.00	5.00	諸収入:サークル等登録料 149千円				
人件費(人工×8,000千円)	40,000	40,000					
総事業費:人件費含む(千円)	42,099	44,113					
活動指標名	支援センター事業参加者数						
活動指標の算式	—						
活動指標の実績	8,295.0	単位 人	8,500	単位 人			
単位当たりコスト(円)	5,075		5,190				
事業の目標	乳児又は幼児及びその保護者が相互の交流を行う場所を開設し、子育ての相談、情報の提供、助言その他の援助を行うことにより、地域の子育て支援機能の充実を図り、子育ての不安感等を緩和し、こどもの健やかな育ちを促進することを目的としている。				備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 4.子ども未来創造プロジェクト (10)子育て支援センター「すくすく」の充実	

平成 25 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	ひとり親家庭等医療費助成事業(市加算分)																							
所管課	101	保険年金課	(市民環境部)		宇陀市一般会計予算																					
事業の目的	ひとり親家庭等の親子等の健康の保持増進を図るため、その医療費の一部を助成し、もってひとり親家庭等の親子の生活の安定と福祉の向上に寄与することを目的とする。 助成対象者は、宇陀市内に在住し、健康保険に加入しているひとり親家庭の父または母と18歳未満(18歳に達する日以後の最初の3月31日まで)の児童や父母のいない18歳未満の児童 ※ 所得制限はなし。また、生活保護を受けている人は対象外。				区分 No.	区分名																				
					款	3	民生費																			
					項	2	児童福祉費																			
					目	6	ひとり親家庭等福祉費																			
細目	1	本庁ひとり親家庭等福祉費																								
根拠条例等	宇陀市ひとり親家庭等医療費助成条例、同条例施行規則																									
総合計画	基本計画 第2章 第2節 地域医療体制の充実																									
H25年度事業の概要	保険診療自己負担金の1か月の合計額から一部負担金(500円、但し月14日以上入院の場合は、1000円)を除いた額を助成。 県の助成金補助制度では扶養義務者の所得制限があるため、宇陀市は所得制限を超える所得がある場合でも市単事業として助成している。 (市単分の予算) ・自己負担金集計手数料・・・@44円×83件×12ヶ月=43,824円 ・医療費助成額・・・2,630円×98人×12ヶ月=3,092,880円				財源の内訳 (単位:千円)																					
					分担金																					
事業の成果	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>22年度(実績)</th> <th>23年度(実績)</th> <th>24年度(見込)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>年度末対象者数(市単)</td> <td>101人</td> <td>111人</td> <td>100人</td> </tr> <tr> <td>助成件数(市単)</td> <td>794件</td> <td>973件</td> <td>1,013件</td> </tr> <tr> <td>自己負担金集計手数料</td> <td>36,256円</td> <td>44,000円</td> <td>44,500円</td> </tr> <tr> <td>市単分助成額</td> <td>2,019,349円</td> <td>1,971,821円</td> <td>3,411,000円</td> </tr> </tbody> </table>					22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	年度末対象者数(市単)	101人	111人	100人	助成件数(市単)	794件	973件	1,013件	自己負担金集計手数料	36,256円	44,000円	44,500円	市単分助成額	2,019,349円	1,971,821円	3,411,000円	使用料	
						22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)																		
					年度末対象者数(市単)	101人	111人	100人																		
					助成件数(市単)	794件	973件	1,013件																		
					自己負担金集計手数料	36,256円	44,000円	44,500円																		
					市単分助成額	2,019,349円	1,971,821円	3,411,000円																		
					国費																					
					県費																					
					市債																					
					その他	35																				
一般財源	3,102																									
H25予算額	A 3,137																									
H24当初予算額	B 3,480																									
H24現計予算額	3,480																									
増減額	A-B ▲ 343																									
事業のコスト	平成23年度(実績)	平成24年度(見込)	特定財源の状況																							
決算額又は決算見込額(千円)	2,016	3,456	高額療養費立替金収入(諸収入) 35千円																							
従事職員数【人工】	0.19	0.17																								
人件費(人工×8,000千円)	1,520	1,360																								
総事業費:人件費含む(千円)	3,536	4,816																								
活動指標名	受給者数																									
活動指標の算式	-																									
活動指標の実績	111	単位 人	100	単位 人																						
単位当たりコスト(円)	31,856		48,160																							
事業の目標					<予算案のポイント> 【重点事業】 4.子ども未来創造プロジェクト (5)子ども医療費、ひとり親家庭等医療費助成の所得制限の撤廃																					